

1 治安情勢

警察による治安対策が一定の成果を挙げているものの、スリ、ひったくり等の軽犯罪は依然として多数発生している。また、リビア等近隣国における法執行機能の不全等を背景として、島嶼部を含むイタリア南部に、多数の移民が短期間で押し寄せ、特別在留許可を得た者を含む多数のアフリカ系移民が都市部に引き続き流入している。

2 日本人被害例

スリ等の被害件数については、前四半期と比較して増加傾向が認められ、この理由としては、年度末での旅行者の増加によるものと考えられる。細部の被害状況については、以下のとおり。

(1) スリ 38件（10月～12月：27件）

ア ローマ市内の混み合ったバスに乗っていたところ、何者かにバッグを引っ張られたため、中を確認すると旅券・財布がなくなっていた。

イ ローマ・スペイン広場の階段で写真を撮っていたところ、気付くとカバンの中の旅券がなくなっていた。

ウ ローマ市内のレストランで食事を摂っていたところ、バッグが開いていたことから、中を確認すると旅券・財布がなくなっていた。

エ ローマ市内の衣料品店で、見知らぬ人物から上に陳列された商品を取るよう依頼されたため、これに対応していたところ、別の人物に背後のリュックサックから旅券・現金を盗まれた。

(2) 置き引き 24件（10月～12月：17件）

ア フィレンツェ市内の観光地で、カバンを横に置いて鑑賞していたところ、気付くと中に入れていた財布が盗まれていた。

イ フィレンツェ市内の路上で、配偶者のコートに汚れが付着していたため、バッグを路上に置いてこれを拭き取っていたところ、気付くと盗まれていた。

ウ ローマ市内のホテルで朝食を摂っていたところ、席を空けた若干の隙に、座席に残したバッグを盗まれた。

エ ローマ市内のマーケットで服を試着していたところ、目を離した隙に地面に置いたバックパックを盗まれた。

(3) ひったくり 4件（10月～12月：1件）

ア ナポリ中央駅付近の路上において、背後からスクーターに乗った二人組に、バッグをひったくられた。

イ ナポリ中央駅付近の路上において、バイクに乗ったヘルメットを被った人物に、バッグをひったくられた。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

外国人が被害者となった事件が発生したものの、日本人の被害については認められなかった。事件の概要については、以下のとおり。

(1) 殺人

ア 1月1日

フィレンツェ市郊外において、朝4時頃、モロッコ人男性の刺殺体が発見された。同地では友人と見られる人物も負傷しており、現在のところ、警察が同人に事情聴取を行う等、細部を捜査中である。

イ 2月9日

ナポリ市内の住宅において、69歳の男性が撲殺された。第一発見者は同人の妻であり、死因は頭部への殴打によるものとみられている。後日、32歳男性が逮捕された。警察によると、加害者は当時、被害者の自宅に金銭目的で侵入したところ、被害者に発見されたことから殴打したと供述している。

ウ 2月28日

ラツィオ州南部の都市ラティーナにおいて、39歳治安機関勤務の男性が、その妻と2名の子弟を射殺した。警察によると、同夫妻は離婚調停中であり、これに反対していた男性は無理心中を図ったものとみられている。

(2) 強盗・窃盗

ア 1月13日

ローマ市内の商店に、営業時間中、銃武装した強盗2名が押し入り、現金2,000ユーロを強奪し、逃走した。警察が監視カメラ画像を分析したところ、犯人らの武器は偽物であったことが判明している。現在のところ、警察が同人らの行方を捜査中である。

イ 3月3日

ローマ市内のデパートに、営業中、メキシコ人男性が入店し、7,000ユーロ相当の衣服を窃取した。犯行当時、犯人は窃盗防止用アラームが吹鳴しないよう、これらをアルミホイル製の袋に入れて退店している。その後、同人は警察により逮捕されている。

ウ 3月27日

ローマ市内の郵便局に、営業後、覆面・武装した2名が侵入し、局内に残っていた職員を脅迫して現金を強奪・逃走した。現在のところ、警察が監視カメラ画像の分析を含め、細部を捜査中である。

(3) 性犯罪

2月3日、フィレンツェ市内のホテルにおいて、従業員である46歳男性が強制わいせつの疑いで逮捕された。被害者の供述によると、被疑者は、宿泊中の被害者の体に故意に接触するなど、性的嫌がらせを行ったものとみられている。

4 テロ・爆弾事件発生状況（爆弾未遂事件）

3月25日、当地新聞社に対し、ローマ市内のデパートに爆発物が設置されている旨の匿名の通報があり、一時、同店の客及び従業員は、指示により建物外へ避難した。その後、警察の調査により、爆発物は確認できなかったとして、避難指示は解除されている。同事象による市民の身体への被害は認められない。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

6 対日感情の変化

特になし。

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。

（了）